

# 令和7年度事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

## 1 警備業を取り巻く情勢の変化に対応した諸対策の推進

### (1) デジタル化の推進による業務の合理化と利便性の向上

ア クラウドサービスを活用した請求書等のWeb配信（ペーパーレス化）

- ・ 従来、郵送にて送付していた各種請求書および教育実施簿をWeb配信へ移行した。これにより、封入・発送作業時間を大幅に短縮したほか、封入ミスや誤送付を未然に防止するなど、事務局業務の効率化と正確性の向上を図った。
- ・ 年間延べ734社に配信し、郵送費等の事務コストを約11万円削減した。
- ・ クラウド上でのデータ管理により、紛失リスクの低減とペーパーレス化を推進し、会員企業の管理業務効率化に寄与した。
- ・ 送付先アドレスを最大3つまで登録可能としたことで、協会からの「お知らせ」や委員会開催通知等の情報共有が円滑化され、会員からの照会対応業務が減少した。

イ eラーニングへの対応

- ・ 特別講習の事前講習において、全国で初となるeラーニングを導入した。531名分のIDを配布し、受講者の能動的な学習を促すとともに、場所を選ばない受講形態により利便性を大幅に向上させた。
- ・ 法定教育（新任・現任）へのeラーニング導入については、事業コストや運用体制を精査し、引き続き継続的な検討課題とする。

ウ 4条業者に対する認定更新通知メールの配信

認定更新時期を迎える企業に対し、更新に必要な「提出書類様式」および「手続きの手引き」をメールにて送付する運用を開始した。（令和6年12月の更新対象企業より順次実施中）

### (2) 雇用対策の推進

ア 労働局及びハローワークとの連携による「警備の本音セミナー・面接会」の開催  
埼玉労働局への開催要請は協会が行い、各ハローワークとの具体的な調整は各支部が担う体制で実施した。

※ 開催実績

令和6年度：9会場11回開催（浦和1、大宮2、県東3、県西1、県南2、県北2）

参加実績：求人企業41社、求職者229人

令和7年度：10会場12回開催（大宮2、県東3、県西2、県南2、県北3）

参加実績：求人企業40社、求職者254人

イ 埼玉労働局との連携強化

(7) 啓発冊子「警備の仕事Q&A」の作成と配布

埼玉労働局管内の各ハローワーク窓口において同冊子を配布し、求職者に対し警備業務への理解促進と周知を図った。

(イ) ハローワーク職員向け実務セミナーでの講義

窓口担当職員を対象に、警備業の概要や業務内容に関する講義を実施した。業界への理解を深めることで、紹介時におけるミスマッチの防止に努めた。

ウ 効果的な広報活動の推進

幅広い層の求職者を確保するため、啓発ポスター・チラシの作成・掲示に加え、協会ホームページへのPR動画掲載など、インターネットを効果的に活用した広報を展開した。

エ その他

(ア) 外国人雇用対策への対応

全警協が推進する外国人雇用対策（特定技能制度の警備業導入等）の進捗状況について、適宜会員企業との情報共有を図った。

(イ) 働き方改革の推進

厚生労働省事業委託「埼玉働き方改革推進支援センター」と連携し、各支部の研修会において「働き方改革セミナー」を実施した。

**(3) 青年部会の積極的な活動**

ア 闇バイト撲滅に向けた啓発活動の実施

6月29日、深刻化する闇バイトの撲滅を目的に、青年部会と講談師の一龍齋貞奈氏が共同制作した「新作講談」をさいたま市内で披露した。当日は他県の警備業協会青年部会のほか、地元の高校生が聴講し、伝統芸能を通じた防犯意識の向上を図った。

本年2月10日、千葉県警備業協会青年部会の要請により支援事業も実施した。

イ DX推進に関する他県支援

昨年2月に実施した「DX体験セミナー」の成果を「埼玉ノウハウ」としてパッケージ化し、5月に鹿児島県警備業協会青年部会が開催したセミナーへ提供・支援を行った。これにより、組織間連携による業界全体のデジタル化推進に寄与した。

**(4) 適正取引の推進**

ア 適正価格の確保及び不当なダンピング防止に向けた活動

県議会、行政機関並びに関係業界団体に対し、適正取引の実現および労務単価の向上に関する要望・働きかけを実施した。

イ 「自主行動計画」の周知と契約交渉の支援

全警協が発行するリーフレット「適正取引の推進（改訂版）」等を活用し、適正な契約交渉の進め方について会員企業への周知徹底を図った。

**(5) 働き方改革関連法への適切な対応**

法改正に伴う適切な実務対応を支援するため、研修会を開催した。

**(6) 埼玉県と締結した「家畜伝染病発生時における緊急対策に関する基本協定」に関する**

## る発生時の対応

令和7年12月29日、嵐山町の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが確認され、約233,000羽が殺処分された事例で、埼玉県からの要請に基づき、令和8年1月27日まで指定幹事会社を中心に対応した。

## 2 警備員教育の実施

新任教育・現任教育の受講者数

総受講人員 1,559人(前年比+92人 +6.2%)

内訳 新任教育任 214人(前年比+55人 +34.5%)

現任教育 1,345人(前年比+37人 +2.8%)

## 3 特別講習の実施

令和7年度は9回(前年比±0回)実施した。実施状況は次表のとおり。

種別	級別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均
施設警備	2級	2回	81	70	86.4(+7.7P)	76.3%
交通誘導	2級	5回	269	190	70.6(-3.9P)	65.2%
雑踏警備	2級	2回	83	66	79.5(-8.7P)	82.3%
貴重品運搬	2級	2回	52	49	94.2(+18.1P)	74.7%
雑踏警備	1級	1回	37	27	72.9(—)	66.9%

(注1) 受講者総数 522人(前年比+83人)。「合格率」欄の( )は前年対比

(注2) 合同開催(施設2級・貴重品2級)2回実施、(雑踏1級・雑踏2級)1回実施

## 4 受託講習の実施

埼玉県公安委員会からの受託講習の実施状況は、次のとおり。

### (1) 警備員指導教育責任者・新規取得講習

種別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	65	54	83.0
2号業務	2回	56	35	62.5
3号業務	1回	2	2	100
4号業務	1回	2	2	100

### (2) 警備員指導教育責任者・追加取得講習

種別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	21	18	85.7
2号業務	2回	12	12	100.0
3号業務	—	—	—	—
4号業務	1回	8	8	100.0

### (3) 機械警備業務管理者講習

種 別	回 数	受講者 (人)	合格者(人)	合格率(%)
機械警備	1回	13	12	92.3

### (4) 警備員指導教育責任者現任（定期）講習（人）

1号業務	3回	151
2号業務	3回	141
3号業務	1回	26

4号業務実施無し

## 5 協会実施の講習会

特別講習・予備講習	施設2級	2回	47
	交通2級	5回	157
	雑踏2級	2回	36
特別講習・事前講習	施設2級	2回	83
	交通2級	5回	281
	貴重品2級	2回	50
	雑踏2級	1回	87
	雑踏1級	1回	37

(注) 予備講習・事前講習受講者総数 778人 (前年比+174人)

## 6 研修会・講習会等の開催

- 警備員指導教育責任研修会(7/24)  
(県警察本部保安課 内田 武久 氏による講演)
- 経営者研修会(8/27)「カスタマーハラスメント対策」  
(全国警備業協会 総務部次長 小澤 祥一郎 氏による講演)
- 労働安全衛生大会「労働災害（熱中症対策）防止」  
(労務委員長 井出 雅博 氏による講演)

## 7 労働災害事故防止対策の推進

- (1) 労働災害の発生状況と注意すべきポイント（熱中症の特集）を取りまとめ、「警備員の労働災害防止のために～令和6年度労働災害の発生状況から～」と題する資料を作成、配布するとともにホームページに掲載した。
- (2) 第27回安全運転コンクールの実施（4月～9月までの間で実施）
- (3) 労働局からの要請に対する対応
  - ・ 熱中症防止の徹底要請～埼玉県労働局長から要請文を受領(5/30)、会員企業に事務連絡発出

- ・年末年始無災害運動決起式～埼玉県労働局（11/28）

## 8 災害支援への適切な対応

- (1) 災害時等における地域安全の確保等に係る警備業務の実施に関する協定（仮称）の締結に向けた対応  
当協会から実態に即した新たな協定（案）を埼玉県（危機管理防災部）に提案した。
- (2) 防災訓練等  
第46回九都県市合同防災訓練（幸手市）に参加し、防災フェア会場の警戒業務を実施した。（9/7）
- (3) 災害対策用品の備蓄  
大規模災害時における、地域の避難場所として活用できるよう災害対策用品を備蓄した。（飲料水、簡易トイレ、タオル、乾パン等）
- (3) 緊急の交通規制時等に関係車両等の駐車場所としてセンター施設の提供  
警察車両、緊急工事車両、交通誘導業務等に便宜供与できるよう準備した。

## 9 「埼玉県防犯のまちづくり協定」等に基づく取り組み

協会、各支部が連携して地域防犯活動等を推進し、犯罪抑止、犯罪検挙に協力した。

- (1) ATM周辺で業務を行う警備員に対し、毎日、県警からの振り込め詐欺警戒情報を提供するため、ホームページに発生状況を掲示
- (2) 警察署が開催する防犯運動、交通安全運動のキャンペーン等への参加をはじめ、「子ども安全協定」、「路上寝こみ等による交通事故防止協定」に基づく活動への協力
- (3) 全国交通安全運動における警察本部及び関係警察署と連携した交通安全活動の実施  
春・秋の全国交通安全活動において、社会貢献活動の一環として、警察署が実施する出発式、キャンペーンに参加するとともに、小学校の近辺等において児童の見守り活動に従事した。
  - ・出発式・キャンペーン～6支部11警察署において14回実施
  - ・通学路での見守り活動～期間随時実施警察、学校関係者、関係団体（交通・学校）等から、感謝の言葉が寄せられるとともに、今後の参加要請があった。
- (4) 表彰の受賞
  - ・関東防犯協会連合会防犯功労者賞 和田 章 氏（テイシン警備㈱）
  - ・防犯栄誉銅賞 前島 順二 氏（㈱エス・エム・ティ・ガードシステム）
  - ・埼防連防犯功労者表彰 新井 堅吾 氏（(有)ユニオンサービス）
  
  - ・埼玉県知事感謝状 埼玉県警備業協会「八潮市道路陥没事故の対応」

## 10 広報・啓発活動等

- (1) ホームページを活用した効果的な発信  
トップページをリニューアルし、各項目を見やすい表示とした。  
一般用トップページ及び会員専用ページに、それぞれに応じた情報を遅滞なく掲示した。
- (2) 機関誌の発行～機関誌「埼警協」を年2回発行し、会員、関係機関団体等に配布
- (3) 業界専門紙への情報提供と掲載記事（主な記事は次のとおり。協会と支部提供のみ）  
『協会提供分』
  - ・07.5 事前講習にeラーニング～全国初～学科講習「何度でも」
  - ・07.5 事前講習にeラーニング「実技増やして」に応える
  - ・07.6 「熱中症対策の徹底」要請受ける～埼警協が埼玉労働局から
  - ・07.6 定時総会の開催～課題解決に尽力～
  - ・07.6 「埼玉のノウハウ」活用～DX体験セミナー開く
  - ・07.7 「選ばれる」講習に～埼警協で2008年から特別講習講師～
  - ・07.7 埼玉発～共同制作の「講談」披露、闇バイト撲滅に向けて～埼警協青年部会
  - ・07.7 「仲間と連携」広げよう～埼警協青年部会
  - ・07.8 指導教育担当者110人研修～「書類の定期確認」呼び掛け
  - ・07.9 埼玉発～カスハラ対策で経営者研修～「労働安全」宣言を採択
  - ・07.10 実技時間増え合格者増～学科は「自宅で繰り返し」～事前講習eラーニング
  - ・07.10 埼玉発～痴漢撲滅へ駅で活動「啓発ノート」を配布・大宮支部
  - ・07.11 会員へクラウド配信～教育実施簿や会費請求書～業務のDX化推進で
  - ・07.11 警備の日の活動～警備員表彰式・貢献たたえ表彰
  - ・07.12 埼玉発～闇バイト、「撲滅」に向けて～共同制作の「講談」上演
  - ・07.12 埼玉発～「社内規定の点検・整備を」社労士が研修会で呼び掛け～県南支部～
  - ・08.1 賀詞交歓会開催～持続可能な発展へ～
  - ・08.3 カスハラ対策進む～対応、事例をテーマに研修～

## 11 行政機関・関係機関等との連携

- (1) 関係機関の実施するイベント  
交通安全対策協議会、暴力追放・薬物乱用防止県民大会、防犯のまちづくり県民大会、埼玉県特殊詐欺撲滅官民合同会議、万引き防止官民合同会議等については、開催されたものについては参加した。
- (2) 埼玉県議会議員団への陳情（書面陳情）  
労務単価の向上、人手不足対策への支援、関連予算の確保について要望書を提出し、県に対して要望として提出され、その対策について県から回答があった。

## 12 諸会議等

### (1) 定時総会・役員会議

第13時総会	令和7年5月28日
理事会	5回
会長・副会長会議	随時開催
支部長会議	随時開催

### (2) 各委員会等

各委員会（総務、教育、労務、災害対策）は、必要に応じてそれぞれ開催  
教育センター会議（非常勤講師委嘱式含む）の開催（2回）

教育研究部会、特別講習研究部会、講師選考委員会は、必要に応じて開催

### (3) 支部活動

- ・ 総会：浦和支部（6/9）、県北支部（6/5）、県東支部（6/17）、大宮支部（6/5）、  
県西支部（6/6） 県南支部（7/9）
- ・ 研修会：県西支部（11/14）・（2/19）、浦和支部（12/16）・（2/13）、大宮支部（12/5）、  
県南支部（12/10）、県東支部（12/11）、
- ・ 各期の交通安全運動における啓発活動に参加
- ・ 児童の見守り活動等を全国交通安全運動、全国地域安全運動に合わせて活動
- ・ 痴漢撲滅啓発活動を大宮駅で実施

### (4) 全警協・関東連関係会議

#### ア 全国警備業協会

定時総会（6/11）

理事会等の会議は随時参加

全国専務理事会議・労働安全大会（7/2）

全国殉職者慰霊祭・警備の日表彰式（11/10）

#### イ 関東地区警備業協会連合会

定時総会・会長会議（4/15）に出席

会長会議（11/11）

青年部会会議（1/22）

## 13 表彰

警備員表彰式の開催（11月12日）

- (1) 優秀警備員表彰（県警生活安全部長・会長連名表彰） 6名
- (2) 社会安全功労表彰 4名
- (3) 永年勤続表彰（20年、15年、10年、5年） 210名
- (4) 労働災害防止標語
- (5) 安全運転コンクール表彰 15チーム

## 14 その他

- (1) 協会員加盟の促進
- (2) I T機器の導入等による事務の合理化・効率化の推進
- (3) 労災事故防止標語入りカレンダーを作成
- (4) 会員親睦旅行(10/17・18)、賀詞交歓会(1/20)を開催